



研究用試薬

## 温度感受性 TRP チャネル 抗ラット TRPV2 (VRL-1) ポリクローナル抗体

TRPV2 (transient receptor potential cation channel, subfamily V, member 2) は、カプサイシンの受容体 TRPV1 のホモログとして遺伝子が単離されました。TRPV1 と同様の 6 回膜貫通型のイオンチャネルであると推測されますが、vanilloid (カプサイシンや RTX) 及びプロトンには感受性を示さず、50°Cを越える熱によって活性化されることが明らかとなっています。

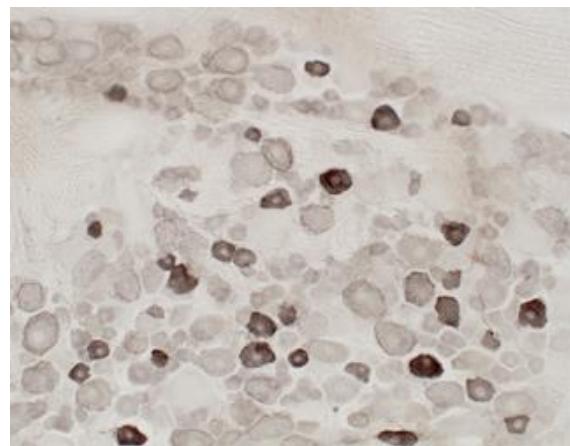
有髄の A<sub>δ</sub> 線維には、52°Cと 43°Cの異なる温度閾値の熱感受性神経が存在することが知られており、TRPV2 は前者を担っていると考えられ、免疫染色により A<sub>δ</sub> 線維での発現が確認されています。

本抗体は、ラットの TRPV2 に対するポリクローナル抗体であり、免疫組織化学的な解析に有用であることが確認されています。

|       |   |
|-------|---|
| 容量    | 5μg (50μL/vial)   |
| 形状    | ウサギポリクローナル抗体 0.1mg/mL、凍結品   |
| バッファー | PBS [2%ブロックエース(安定化蛋白)、0.1%proclin 含有]   |
| 保管方法  | -20°C以下<br>抗体を低濃度にて冷蔵保管されると、失活する恐れがあります。<br>融解後は 4°Cで保存し、お早めにご使用下さい。<br>また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。 |
| 製造方法  | ラット TRPV2 の部分ペプチドを免疫して得られた抗血清より、ペプチドアフィニティーカラムにより精製。  |
| 使用濃度  | 組織染色: 0.1μg/mL  |



ラット腰部後根神経節 (厚さ 30μm)



ラット腰部後根神経節 (厚さ 30μm)

提供 福岡 哲男 先生  
兵庫医科大学第二解剖学教室

提供 福岡 哲男 先生  
兵庫医科大学第二解剖学教室

\*抗体作製・研究指導  
富永 真琴 教授 三重大学医学部 生理学第一講座

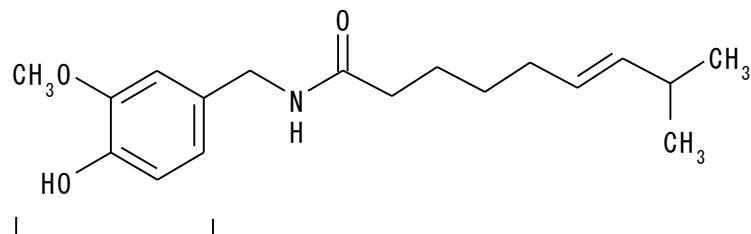


温度感受性 TRP チャネル  
**抗ラット TRPV2 (VRL-1) ポリクローナル抗体**

【参考文献】

- 富永 真琴:多刺激痛み受容体としてのカプサイシン受容体の構造と生理機能実験医学 Vol. 18 No.17 : 2325-2330, 2000
- Tominaga M, & Julius D (2000): capsaicin receptor in the pain pathway. *Jpn J Pharmacol* 83(1): 20-24
- Tominaga M, Caterina MJ, Malmberg AB, Rosan TA, Gilbert H, Skinner K, Raumann BE, Basbaum AI, & Julius D (1998): The cloned capsaicin receptor integrates multiple pain-producing stimuli. *Neuron* 21(3): 531-543
- Davis JB, Gray J, Gunthorpe MJ, Hatcher JP, Davey PT, Overend P, Harries MH, Latcham J, Clapham C, Atkinson K, Hughes SA, Rance K, Grau E, Harper AJ, Pugh PL, Rogers DC, Bingham S, Randall A, & Sheardown SA (2000): Vanilloid receptor-1 is essential for inflammatory thermal hyperalgesia. *Nature* 405(6783): 183-187
- Hwang SW, Cho H, Kwak J, Lee SY, Kang CJ, Jung J, Cho S, Min KH, Suh YG, Kim D, & Oh U (2000): Direct activation of capsaicin receptors by products of lipoxygenases: endogenous capsaicin-like substances. *Proc Natl Acad Sci USA* 97(11): 6155-6160
- Caterina MJ, Rosen TA, Tominaga M, Brake AJ, & Julius D (1999): A capsaicin-receptor homologue with a high threshold for noxious heat. *Nature* 398(6726): 436-441

カプサイシンの化学構造



製造販売元

MCP 医化学創薬株式会社

神戸研究所

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-945-7075 FAX: 078-306-0694

URL:<https://soyaku.co.jp> tech-kobe@soyaku.co.jp

旧製造販売元

株式会社トランスジェニック